



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁と法枠を
つくりました

地元の声

・雨が降ると土砂がよく崩れるので不安なため、早急に工事を施工してほしい。（地元住民）

事業前

◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがありました。



事業前の状況

事業後

◆擁壁をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減しました。

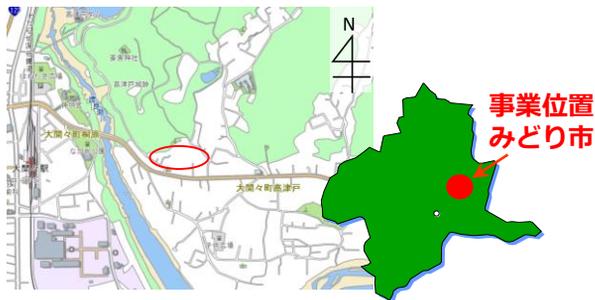


事業後の状況

事業の概要

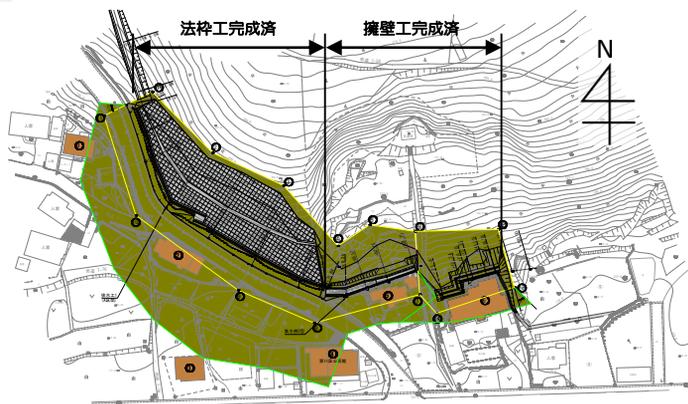
- 事業箇所：みどり市大間々町高津戸
- 事業内容：擁壁工 延長54m・法枠工
- 事業期間：平成29年度～令和3年度

※法枠（のりわく）とは、コンクリートなどで格子状の枠を設けて、斜面の風化、浸食、崩落などを防止するものです。



事業位置
みどり市

事業の進捗状況（令和3年度完了）



今、何をしているか

令和3年度に、擁壁工事を実施し、本事業は完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了